八代市坂本町百済来地区　復興まちづくり計画（素案）

■復興に向けた課題

課題1　子どもから高齢者まで安全・安心に暮らせる環境づくり

災害に対する安全性の向上はもちろんのこと、子どもや高齢者まで安全・安心に暮らすことができる、若者も地区に残ることができる環境づくりが課題となっています。

地区別懇談会などでの意見

- 河川の護岸の復旧や嵩上げ、落石･土砂･倒木の早急な撤去が必要
- 各集落の水道設備が被災し断水が発生
- 公共交通が不便で高齢者が買い物・通院等の交通手段に困っている
- 道路が狭く市街地からも離れているため若い人が残りにくく、外からも人が来にくい
- 子どもが少ない。若い人にもう一度地区の活性化に尽力して欲しい
- 荒廃した山林の整備が必要
- 県道破木二見線の拡幅、市道･農道･林道の整備が必要
- 遠方の避難場所に行くのが困難な場合、集落単位で避難場所を決めておくとよい　等

課題2　地区内外の交流によるコミュニティの維持・強化

祭りの再興などを通じて地区内がつながり、社寺や湧水などの地域の魅力を活かしながら地区内外の交流を促進し、コミュニティの維持・強化を図る必要があります。

地区別懇談会などでの意見

- コロナ禍で集落の祭りや集会が小さくなり地区のまとまり・横のつながりがなくなった
- 坂本町全体で百済来地区の祭りをアピールする必要がある、祭りをしても人が集まらない
- 久多良木神社、百済来地蔵堂、祭りの再興
- 地域の伝統の継承が必要
- 「名水さくらの雫」にはたくさんの人が来る。周辺の整備が必要
- 坂道が多くサイクリストに好まれている。自転車やバイクのツーリング利用で活用できないか
- 日羅さんを中心とした史跡や湧水を売りとする地域であり、仏教の出発地である聖地　等

課題3　基幹産業である農業の維持・振興と活用

農地や農業施設の早急な復旧を図るとともに、移住･定住、新規就農者の支援など、地区の“外”の力も得ながら基幹産業である農業の維持・振興と活用を図る必要があります

地区別懇談会などでの意見

- 農地に土砂が流入・堆積していて、農業が再開できない
- 農業従事者が高齢化しており、後継者も少ない
- 若者が集まる・定住させる現場づくり
- 就業の場となる企業の誘致　等

■復興まちづくりの目標

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□なまち 百済来

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□ 。

課題を解決することで地区が目指すべき姿（キャッチフレーズ）を検討ください。

■復興まちづくりプロジェクト（地区における取り組み）

プロジェクト1　安全・安心な暮らしプロジェクト

○災害が発生しにくい、発生した場合でも被害が抑えられる地区づくりを進めるとともに、日常生活においても子どもから高齢者まで、支え合いながら安心して暮らせる環境をつくります。

【具体的な取り組み】

河川の安全性向上	・護岸の復旧や、河川内の土砂･落石･倒木等の撤去を進めることで、災害に対する安全性を高めます。
道路の安全性向上	・日常の生活や経済活動の基盤となり災害時には避難ルートとしての役割も果たす道路の安全性向上に向けて、国・県道について要望を行うとともに、市道等については住民との連携により取り組みを進めます。
生活利便施設への連絡	・地区の生活を支える商業や医療施設等、生活利便施設への移動手段の確保を図ります。
避難所の確保と避難情報の伝達	・地区内の避難所を確保するとともに、避難行動要支援者（高齢者等）への対応、災害時の情報伝達手段を確保します。

プロジェクト2　地区の魅力を活用した交流促進プロジェクト

○久多良木神社や百済来地蔵堂、名水さくらの雫、祭りなどの “お宝”を掘り起こして磨き上げ、自転車やバイクなどを利用したツーリズムを活用し、地区内外の交流を推進します。

【具体的な取り組み】

祭りの振興・復活	・地区に伝わる祭りの振興や伝統芸能の復活により、コミュニティのつながりを強化するとともに、出身者が地区に関わる機会や地区外からの人の流れを創出します。
地区の資源を活用した取り組み	・神社・仏閣や、さくらの雫周辺など地区の魅力資源として磨き上げ、地区のシンボルとして活用します。 ・自転車やバイクなどを利用したツーリズムなどを活かした、地域おこしに向けた地元受入れ体制の構築。
○○（地区が主体となる取り組み）	・○○。

プロジェクト3　多様な担い手による“にぎわう”農業プロジェクト

○基幹産業である農業の生産基盤を整えるとともに、様々な形で農業に関わる機会を増やすことで、農業を軸とした人の流れを生み出します。

【具体的な取り組み】

農地・農道・農業用施設の復旧	・令和2年7月豪雨で被災した農地や農道、農業用施設などの早期復旧を図り、地区の基幹産業である農業の生産基盤を整えます。
新規就農者に対するサポート体制の充実	・地区において、新規就農者を積極的に募集するとともに、現役農家によるきめ細かな指導や、農業機械の貸し出しなどの積極的なサポートを実施します。
農地を活用した取り組み	・一日農業体験や農泊（農山漁村滞在型旅行）等、地区内外の交流を促す取り組み・担い手の確保に繋がるようよう取り組みます。
○○（地区が主体となる取り組み）	・○○。

「復興まちづくりの目標」を実現するために必要な取り組み（プロジェクト）について検討ください。

※ 第２回地区別懇談会やこれまで地域の皆様からいただいたご意見をもとに作成した素案であり、未調整事項も含みます。